

## 第 8 回 ICF シンポジウムについて

主 催： 厚生労働省  
テ ー マ： ICD-11 と ICF 利活用の新たなステージを展望する  
～かつてない超高齢社会を迎える日本の挑戦～  
日 程： 令和 2 年 1 月 18 日（土） 13:00～16:30  
会 場： イイノホール（住所：千代田区内幸町 2-1-1）  
参加人数： 287 人

### 当日プログラム：

#### 開会挨拶

鈴木 英二郎（厚生労働省政策統括官（統計・情報政策、政策評価担当））  
中村 耕三（社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会委員長）

#### 基調講演

ICD-11 と ICF の利活用の新たなステージを展望する  
～ICD-11 の改訂に参画して～  
加藤 真介（徳島大学病院リハビリテーション部教授）

#### 講演

ICF コンセプトに基づく生活機能評価システムの作成と検証  
－ICD-11 第 V 章の臨床活用に向けた取り組み  
向野 雅彦（藤田医科大学医学部リハビリテーション医学 I 講座准教授）

#### ICF のアップデートと今後の展望

－WHO-FIC 動向と日本での活用に向けて  
山田 深（杏林大学医学部リハビリテーション科准教授）

#### ICF コンセプトを活用した既存情報整理の考え方と実際

－ICF-WG・リコード班の活動報告を中心に  
大多賀 政昭（国立保健医療科学院主任研究官）

#### 質疑応答

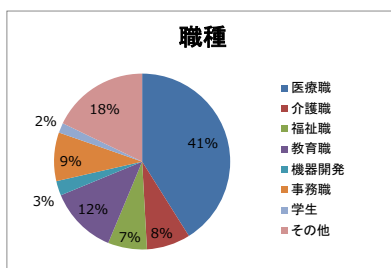
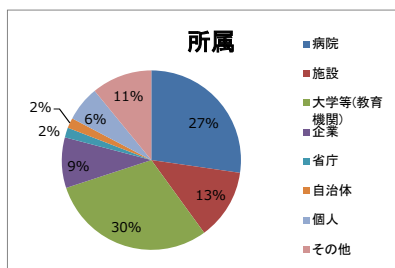
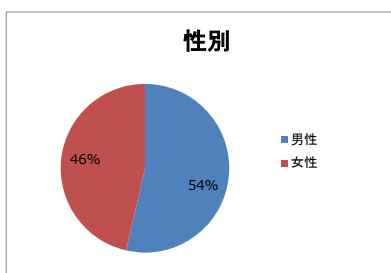
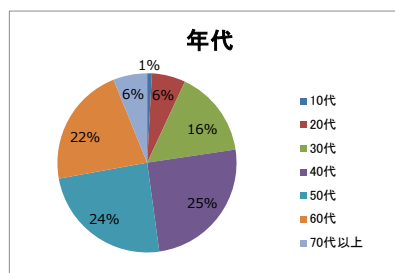
#### 閉会挨拶

武藤 憲真（厚生労働省 参事官（企画調整担当））

POSTER 掲示発表 17 題

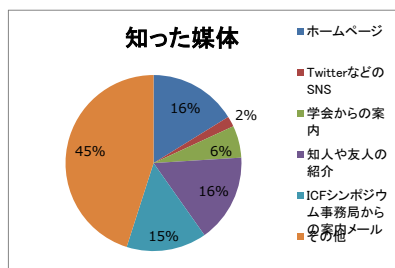
## I. 参加者属性

1. ご自身についてお伺いします

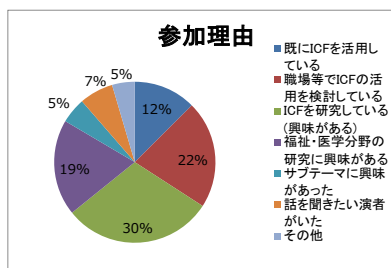


## II. 参加経緯

2. 本日のシンポジウムの開催はどのようにお知りになりましたか？

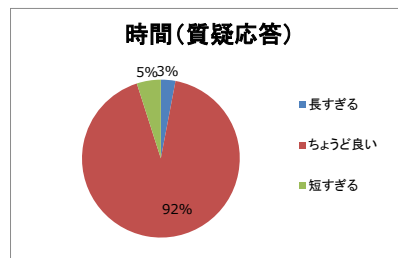
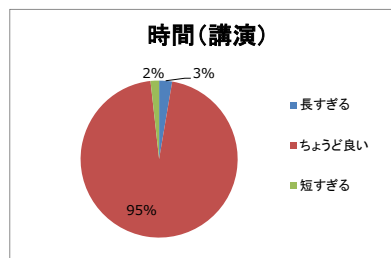
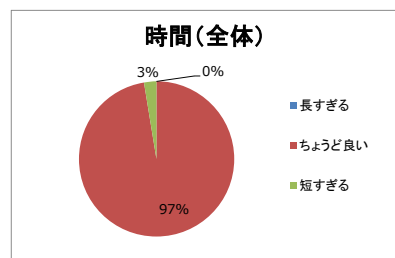


3. 本日のシンポジウムに参加された理由についてお聞かせください

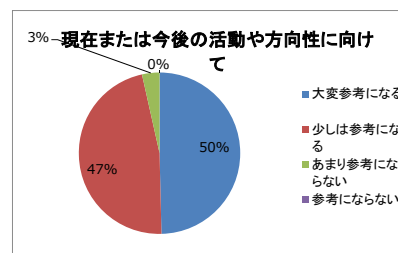
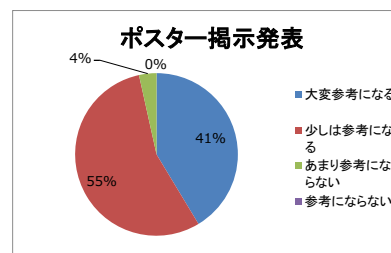
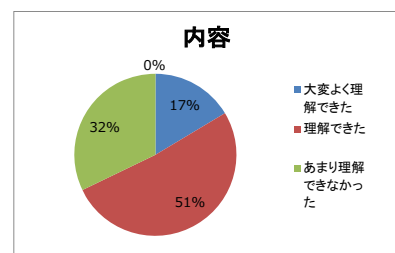


## III. シンポジウムの内容について

4. 本日のシンポジウムの進行についてお聞かせください

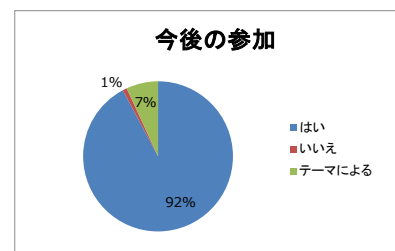


5. 本日のシンポジウムについて感想をお聞かせください



## IV. シンポジウムの今後について

7. 今後もICFに関するシンポジウム等に参加を希望しますか。



8. 今後どのような形式の催し物に参加を希望しますか。

